

社会教育委員会（平成25年9月30日委員会会議録）

月 日 平成25年9月30日（月）

場 所 境港市役所第1会議室

開 会 15:00

出席委員（15名）

松本 敏浩	山本 美千枝	田中 茂人	廣江 仁
梶川 恵美子	門脇 規矩子	門脇 哲也	角本 豪
澁谷 博子	岩本 裕美	足立 利昭	岩間 悦子
渡部 万里子	本池 平二	八重樫 吉一	（全員出席）

説明のために出席した者

教 育 長	佐々木 邦 広
教育委員会参事	門 脇 俊 史
生涯学習課長	池 田 明 世
生涯学習係長	片 寄 幸 江
文化体育係長	古 徳 健 雄

説明以外の出席者 境港市教育委員会教育委員長 遠藤 恵裕

傍 聴 者 なし

会議書記 片寄 幸江

報告事項

- （1）平成25年度社会教育事業概要について
- （2）平成24年度社会教育委員会について
 - ・境港市社会教育基本計画
 - ・会議での意見及び課題に対する取り組み状況
- （3）消費税率改正への対応

協議事項 社会教育施策について

- （1）社会教育事業の点検評価について
- （2）青少年の健全育成のための重点施策
 - ・子供たちの携帯・インターネット等の利用について

閉 会 17:00

(1 5 : 0 0 開会)

生涯学習課長 開会

佐々木教育長 挨拶

遠藤教育委員長 挨拶

生涯学習課長 説明 (社会教育委員について)

報告 (平成25年度社会教育事業概要について)

(平成24年度社会教育委員会について)

(消費税率改正への対応)

岩間委員 2点。1点目は市展について。

若い人の作品を、ということでした。市民のための市展でありながら、無鑑査の作品があります。作品は立派ですが、市民が出しづらいのでは、という声があります。書の部門においては、高校生が伸びています。書体も変わっていて、高校生が頑張っています。市民の意識によると思いますが、みんなが気楽に出せるようにして欲しい。

2点目、日韓露の駅伝交流について。韓国等は色々と騒がれています。不参加の場合もありますが、交流なのでこのまま続けて欲しいと思います。

生涯学習課長 市展における無鑑査作家の作品について、そういう意見も伺っていますし、一方では良い作品を見て励みにもなります。

無鑑査の方の選出条件の中に、毎年発表ということもあります。高校生からは絵画、書道等良い作品を出していただいています。引き続き出してもらえるようにしていきたいと思います。

日韓露の駅伝交流大会についてですが、韓国は国体のような大会があるので参加は難しい、ということです。ウラジオストックは、県を通して確認しているところです。引き続き続けて盛り上げていきたい、と思います。

門脇哲也委員

学校支援ボランティアについて。初めは国の予算だったと思う。そういう事業がある時は、その期間内に金を使わなくても実施できるような状態にしたらどうですか。また、島根県雲南市に勉強しに行ってはどうですか。

生涯学習課長

平成26年度も国の方では実施予定です。確かにお金を使わなくても実施していけるようにしていかなければいけないと思います。

門脇哲也委員

現に渡もコーディネーターから離れた。学校・公民館・自治会、上手く運営していく組織を立ち上げていかなければいけないと思う。

生涯学習課長

渡も読み聞かせボランティアに入らせていただいたところ
です。

門脇哲也委員 渡は連携ができています。地域の人に頼めばいいと思う。お金を使わないよう考えていかなければいけない。

生涯学習課長 今、コーディネーターを一人雇って公民館へ挨拶しています。

門脇哲也委員 見たことがない人が挨拶に来ても地域の人には動かない。私が頼んだほうが動く。公民館主事に頼んだらいいのと一緒に。

生涯学習課長 そういった事も考えながら、状況に合わせて進めていきたいと思います。

門脇哲也委員 7館全部を、とは言いません。雲南市に勉強に行けばいい。

岩間委員 教育委員会の点検評価について。今、学校では朝読書をしていますか。

教育長 今市内の全小・中学校で朝の読書を行っています。読書に親しむ事も大事ですが、授業に入る前に静かに本を読む時間を持つということは、精神的にも安心した時間を持つ、ということで大事だと考えています。

本池委員 朝のスタートは大事です。今は騒がなく静かに授業に集中できます。

松本委員 中学生も落ち着いて10分間読書をしています。教員も一緒に読もう、ということで行っています。

岩間委員 教育委員会の点検評価はわかりやすくまとめていて良いと思います。朝読書についても入れてもらえたらいいと思います。

生涯学習課長 教育総務課と話をしていきたいと思います。

澁谷委員 北米移住120周年記念事業について。リーフレットを配布していますが、見せていただきたい。実施事業のうち3ヶ所行かせていただきましたが、素晴らしい交流ができたと思います。移民の中にはどこまで入っているのですか。

生涯学習課長 このリーフレットについては、境港市から移住された足立儀代松さん等がいます。

澁谷委員 それだけ。青少年義勇軍の歴史とか移民の中に入れて欲しい。

生涯学習課長 市史の中にも移民の歴史について詳しく記述していますので、まずは市史を読んでいただけたらと思います。

澁谷委員 次に作る時は簡単でいいので、移民史について紹介して欲しい。

生涯学習課長 今、ホームページでもリーフレットについて掲載しています。
あわせて先人たちのリーフレットについても掲載しています。

門脇規矩子委員 境港市の歴史史料について残して欲しい。境港市特別社会教育講座が良かった。PTA を通じて親御さんにも伝えたら良かった。また、整理券についてもなくても当日入場できますとのPR が欲しかった、との声がありました。もっと入れるのもったいない、と思いました。

生涯学習課長 歴史史料の散逸については、文化財審議会の方で考えていきたいと思います。境港市特別社会教育講座について、PTA・全小・中学生に配布しました。ご指摘のとおり保護者に加え、子供達にも来て欲しかったので残念です。入場整理券につきましてはテレビ等に出ておられますので、全体を把握しきれないので、入場整理券にさせてもらいました。1100人入る会場で1300枚入場整理券を配布し、最終的には400人と目標には達しませんでした。これらを踏まえて次に実施していきたいと思います。

門脇哲也委員 もう1回呼んで欲しい。釜石だけではなく、大人が変わらないといけない。

松本委員 市が示す基本計画のなかで1人1人を大切にしたい社会教育の推進とありますが、7つの重点項目の中で教育委員会の点検

評価に出ていない子育て支援について。事業そのものが展開されていないのか、24年度の点検評価に外れてないのか。

生涯学習課長

子育て支援について。24年度は各公民館が独自に講座や講演会等を実施していました。25年度につきましては、地域子育て事業として市全体で行っています。

門脇哲也委員

関連して。公民館でも子育て支援事業については考えてやっていますが、実際はひまわり等の方に行ってしまう、1人～2人・1家族位しか来ない。月1回の実施より、多く実施する方が選ばれる。参加者が少ない。

生涯学習課長

誠道公民館はどうですか。

八重樫委員

誠道は若い人はパートが多いので、平日の昼・夜は無理。現在、時間帯と曜日を検討しているところです。

生涯学習課長

渡公民館においても以前から取り組んで頂いています。ひまわりができてからはそちらの方に参加、という事も聞いています。しかし一方で地域とのつながりも大事なので、車も使わず公民館に出かけ、小・中学校の親の繋がりが出来ていくことが大事。ひまわりはひまわり、地域は地域、子育てサークル的なものについても検討していきたいと思います。

門脇哲也委員 ひまわりは毎日だから難しい。

澁谷委員 サポートセンターも出来、そこでも交流出来ているようなので、公民館で1，2回のイベントをしても集めるのは難しい。

門脇哲也委員 そこですることが大事。

教育長 機会がありましたら、是非ひまわりを見ていただきたい。広い部屋ですか、本も良い具合に整理され、読書する環境がとても良くなっています。幼児を持ち、子育ての悩みを持つ親御さんが横に繋がり、情報共有していくことが大事。学校教育も同じです。お母さん・お父さんが子育てに悩まれる。それが子供にあたってDVになっていくこともあります。ところが、色々な人達にアドバイスされて解消されていきます。学校との間でトラブルを持つ家庭は、地域の中でもトラブルを持つことが多いです。保護者の方を孤立させないため、ひまわりはひまわりで繋がり、公民館は公民館で繋がっていただきたい。参加者はあまり集まらないかもしれませんが、機会を持っていただきたい、と思います。

山本委員 公民館はどの地区の住民が利用してもいいですか。

生涯学習課長 はい。

山本委員

この夏、孫を預かった。孫が帰った後に情報を集めたところ、境港市子育て情報誌、というものがあり、公民館・子育てサークル・お話会やひまわり・きらきらの予定等があり、境港市は子育て支援が充実しています、とうたっていることを知りました。きらきらとひまわりが充実しているとは思いますが、それに加えて公民館に行くのも子供達には新鮮で、良いと思います。参加者が少ないかもしれませんが、地域で気軽に行ける場所の提供を続けて欲しいと思います。

門脇哲也委員

来てもらった方がいいです。

澁谷委員

よそから来た人が、境港市では子育てがしやすい、と言っていました。

山本委員

ふるさとで夏休みを過ごそう、という企画をしたらいいと思います。8月だけ公民館に頑張ってもらって。

生涯学習課長

各公民館、子ども向けの行事を考えています。

八重樫委員

公民館には館報があり、どこの公民館でもよその公民館報を見ることができます。

山本委員

夏休みの前に全ての情報、いつ、どこで、どんなんことをするのかをまとめたものを小・中学校に配布してもらえたら、と

思います。

門脇哲也委員 公民館によって受け入れ体制が異なりますが、いいと思います。各公民館の検討事項。

生涯学習課長 説明（青少年の健全育成のための重点施策）
・子どもたちの携帯・インターネット等の利用について。

足立委員 実態について教えて頂きたい。

生涯学習課長 それぞれ、小・中学校での取り組みについてお願いします。

松本委員 特に中学生が直面している問題だと思います。中学校でも、インターネットを通してのトラブルが今年度に入って相当数あり、生徒間の人間関係を崩していく実態があり、対応に追われています。保護者の理解が必要、ということでした。確かにそうですが、機器の変化が早く、理解しても違ってきます。保護者、教師、どんな勉強をするべきか壁に当たります。そういう怖さがあります。一旦、自分が出した情報は未来永劫残り、全世界に発信されるので、子ども達に言っているのは、将来誰が見ても良い情報なのか、例えば将来の子どもとか、と生徒達に意識付をやっていきます。我々教師もインターネットについて生徒・保護者に対して同じ講師で勉強会を計画しています。ただ、それだけでは万全ではありません。

本池委員

小学生だから、という甘い考えではいけない、という近年。ベネッセからパソコン指導を受け、年間計画を立てて実施していますが、その中で欠かせないのが情報モラルを身につけさせながらの指導です。小学校の中でも色々な問題がありますが、その中でも保護者が知らないまま買い与えているケースが殆どです。危険性を知っていたら、ここまではなっていなかったと思います。講演会を計画しても、本当に聞いて欲しい人は出て来ない。小P連でもやらないといけないと提案しましたが、うまくいきませんでした。単独でも何かやらないといけない。保護者、地域、大人が危機感を持っていかないとけないということを広めていきたいと思います。

松本委員

生徒達は日々何百人、多い子は何千人、という人とメールのやり取りをしています。生徒達は交信をした相手を友達、と言っています。その相手から言われたら出て行く、という危険と直面しています。

門脇規矩子委員

結局、本当に聞いてもらいたいお父さん、お母さん達には聞いてもらえない。どうしたらいいのか。大人が変わらないといけない。できるだけ地域、境港の子どもを何とかしないとけない。色々な場面で機会を持つことが必要。

澁谷委員

柳田邦男さんの新聞のコピーを見て思いました。何で国が規制しないのか。政府は力を入れていないような気がします。

生涯学習課長

国は、販売店に携帯を売る時にフィルタリングの説明をするよう、指導をしています。

渡部委員

私達の団体は、5・6年前からこういう講座をしています。

県内の教育委員会から委託を受けて、県内のネットパトロールもしています。問題解決について日々悩みますが、今後10年後の子ども達がどうなって欲しいかを考えやっけていかないといけない。今、使わない方向の方が多いと思いますが、大半の子ども達は上手に使っています。ただ、わからずにうっかりと危険をおかすことがあります。子ども達が自分や他人を傷つけないようにしていくためのルール作りを学校で考えていくべきだと思います。

子ども達自身が自分で気づいて学んでいき、ネットの使い方を勉強していくべきだと思います。色々と機器は変化するので親はついていけない、と諦めてしまうかもしれませんが、子ども達のことを諦めてしまうとそこで終わり、どんなに使い方や内容がわからなくても、きちんと親子で話し合える家庭であれば悪いことはできません。親は、わからないことをとことん子どもに聞く。子どもも親に説明できないものを使う必要はない。納得するまで説明をさせる。そういうことが大事だと思います。境港市のみんなで何とかやっけていこう、と思えば例えば何か免許制度のようなもの、少なくともこういうことが守れないと使ってはいけないとか、クリアしたら使ってもいい等、誰にも恥ずかしくない使い方をする、というような段階を。

小学生もパソコンを使いますので、小・中・高校、年齢別のチェックリストや指針とかを親子で確認し合ったり、PTAでも自転車教室のようなネット安全教室等で、必ずこの問題の何割ができないとあなたはまだだめですよ等、そういうことをやってもいいと思います。オリジナルの境港市ならではのモラルを身につけていくことを考え、色々な年代の人で盛り上げていく。

また同時に、ノーメディアデーのようなものやっていたらいいのではないかと思います。資料の中に2歳の子に毎日スマートフォンを触らせている、という記事があります。泣かないから持たせる、そういう現状があります。そのようなことを視野に入れながら、どういう使い方をするべきか考えていきたい。色々な分野の方で特別チームとかを作って、悪いものだという前にこんな便利なものである、ということにした方がいいと思います。

門脇哲也委員

是非それを。

山本委員

同意見です。保護者と学校教育が両輪にならないといけない。保護者も意識の低い保護者と高い保護者がいるので、やはり効果的なのは学校教育の中だと思います。担任がなにかある度に、繰り返して話をしていく。調べ学習の時に司書教諭が情報モラルを視聴覚主任と一緒に学校ごとにしていくのも大変なので、司書教諭と視聴覚主任が連携を組んで委員会等を作って、境港

市の子ども達のために何かできたら、と思います。各学校ごとに温度差があるのではなく、どこの学校も同じ取り組みをしていけたら、と思います。

門脇規矩子委員 祖父母に頼めば与えてもらえる場合があります。親がいけない、ということは絶対にしてはいけない。両親が納得しないといけない。

門脇哲也委員 年齢別にまとめたらいいと思う。

渡部委員 ネットで繋がっていることで救われ、ようやく生活できている子もいるかもしれない、という現実もあります。難しい。

生涯学習課長 指針・基準がいるのではというお話でした。国の方からも出てくるかもしれませんので、確認していきたいと思います。また、生涯学習課と教育総務課が連携しながら、どういう取り組みができるのかを考えていきたいと思います。

門脇哲也委員 渡部さんの話にあったように早くしないといけない。国を待っていてはいけない。

山本委員 推進事項の次に3があった方がいいと思います。インターネットを使わなくても楽しめるような環境づくりを夏休みだけでも。各公民館に元教員等、シニアの力を借りてボランティア

で夏休みに子ども達の勉強を見てあげる環境があればいいと思います。文化、体育団体にも8月だけでも協力してもらい、子ども達が楽しめるような場があればいいと思います。

生涯学習課長

ノーテレビデー、ノーメディアデー等、そういうことにも繋がっていく。パソコンや携帯を使わなくても生活ができる、という一つの繋がりになっていくと思います。大切なこととして考えていきます。基準等につきましては、渡部委員をはじめ色々な方々と相談して考えていきたい、と思います。

長時間になりました。今日のご意見を検討して取り組んでいきたいと思います。場合によっては、年度内にもう一回開催するかもしれませんが、よろしくお願いします。

(17:00 閉会)